

国立大学法人島根大学役員会（第425回）〈議事要録〉

日 時 令和7年9月2日（火） 14:00 ～ 14:52

場 所 本部棟5階 大会議室（TEAMS 利用）

出席者 大谷学長、増永理事、松崎理事、金山理事、椎名理事、大川理事、宮脇理事、上野理事
オブザーバー 吉田監事、栗原監事

〔陪席：企画部長、研究・地方創生部長、教育・学生支援部長、総務部長、
財務部長、松江地区学部等事務部長、医学部事務部長、監査室長事務取扱〕

議決事項1 大学院総合理工学研究科廃止に伴う関係規則等の一部改正について

- 増永理事から資料に基づき、大学院総合理工学研究科廃止に伴う関係規則等の一部改正について説明があり、審議の結果、原案どおり議決された。

議決事項2 国立大学法人島根大学と学校法人桐蔭学園との包括的連携に関する協定の締結について

- 松崎理事から資料に基づき、国立大学法人島根大学と学校法人桐蔭学園との包括的連携に関する協定の締結について説明があり、審議の結果、原案どおり議決された。

協議事項1 定期モニタリングの実施について（化学物質の管理体制）

- 大川理事から資料に基づき、定期モニタリングの実施について（化学物質の管理体制）説明があった。
- 栗原監事から、リスクアセスメント結果の集計・分析において、松江地区の方がリスクを過大に評価されたとする記載内容について質問があった。大川理事から、松江地区は化学物質の使用量が本学の中では比較的少量だが、実施方法の見直しにより、実際のリスクが高めに評価される場合が多かったことを受け、従来の実施方法がより実態に合うとの分析を反映した記載であるとの回答があった。
- 椎名理事から、リスクアセスメントの実施について出雲地区として一括りで評価しているが、出雲地区の中でも附属病院で取扱う薬品系と医学部で取扱う実験系では化学物質の性質が異なるとの発言があった。続けて、吉田監事から、次回から出雲地区においては、附属病院と医学部を分けて評価してはどうかとの意見があった。

報告事項1 附属病院運営状況について

- 椎名理事から資料に基づき、附属病院運営状況について報告があった。
- 大川理事から、各省庁の来年度概算要求の動向として、医療設備を含めた教育・研究に必要な経費の一部支援及び診療報酬の改定といった附属病院の運営に関わる事項について情報提供があった。

報告事項2 全学委員会の議事報告について

- 資料に基づき、書面による報告があった。